

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第15回 企画・広報分科会
2016年度活動報告・2017年度活動計画(案)**

2017年5月11日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

松本 幸則（パナソニック 全社CTO室 技術戦略部 技術戦略課 主幹）

（サブリーダー）

村田 稔樹（沖電気工業 研究開発センター スペシャリスト）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

1. 創造系活動

- ① WG活動費をWGに配分し、WG活動の支援を継続した。会議費などに有効に活用していただいた。
- ② 8月に全会員向けに要望アンケートを実施。また、シンポジウム、セミナーの機会にアンケートを実施し、協議会活動への要望等を調査した。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2016「最先端スマートアグリ技術とビジネス」を開催した（11月29日、京大附属農場）。
- ② 総会での講演会を企画、実施した（サントリー水科学研究所長渡邊礼治氏によるご講演、6月12日）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2016（11月10-12日、けいはんなプラザ）とグローバルコミュニケーションシンポジウム2016（9月23-25日、東京ビッグサイト）において、展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施。
- ④ セミナーの開催による情報提供、人材育成の実施（気象レーダー・12月22日、農業ICT・3月8日）。
- ⑤ ウェブページの充実により、協議会活動の一層のPR、普及・啓発活動につとめた。
- ⑥ 他団体（次世代安心・安全ICTフォーラム、グローバルコミュニケーション開発推進協議会）主催のシンポジウム、セミナーと共催、協賛をおこなったり、展示会を後援するなど、**本年度は5件の共催、協賛、後援イベントをおこなった**。他団体と共同でプレゼンスを高めるとともに、情報交換、交流をおこなった。また、引き続き、関西ICT研究交流連絡会を通じたイベント情報の交換をおこなった。
- ⑦ グローバルコミュニケーション準備WGが、ユニバーサルコミュニケーション分科会の**本WGとして、活動を開始した**。
- ⑧ **農業ICTのWGに向けて、準備活動をおこなった**。

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動として、研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設の維持、整備を実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けた広報を継続。オープンラボ施設の利用者は1社退去、1社入居。

2016年度の活動報告②

	2016年										2017年				
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
企画・広報分科会	● 第14回 分科会 (3/8)										● 第15回 分科会 (3/17)				
創造系活動					WG活動支援 ● テーマ、ニーズ調査										
促進系活動	→ 総会企画準備				→ シンポジウム開催準備			→ セミナー開催準備			→ セミナー開催準備				
					→ 随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)										
整備系活動					→ けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用										
					→ JGNなどのネットワーク施設整備・運用										
グローバルコミュニケーション準備WG	● WG会合 (6/10)				→ メンバー募集、会合、打ち合わせ、本WGへの移行										
【協議会関連】	● 第16回 運営研究 部会 (5/11)		● 第15回 総会 (6/10)					● けいはんな 情報通信 フェア2016 (11/10-12)		● 協議会主催 シンポジウム [京大農場] (11/29)		● セミナー 「気象レー ダー」 (12/22)		● セミナー 「ICTを活用 した農業」 (3/8)	
					→ 事務局打合せ、月1回程度開催										

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2016 開催結果

○日時：2016年11月29日(火) 13:40～17:00
○場所：京都大学大学院農学研究科附属農場(京都府木津川市)
○来場者数：57名(見学会43名、交流会31名、アンケート回収数35)
○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
○共催：(公社)関西経済連合会、(国研)情報通信研究機構、総務省近畿総合通信局、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、京都大学大学院農学研究科附属農場、次世代安心・安全ICTフォーラム
○概要：
情報通信技術を活用した最新の農業技術とビジネスについて、最前線で活躍されている方より講演をいただきました。講演の前には、京大農場のご厚意で見学会を開催し、新たに移転され、最新の設備が整った農場を見学させていただきました。遠方にもかかわらず多数の参加を得、農業分野へのICT適用への関心の高さをうかがわせました。来場者からは、各機関、各社の研究開発への挑戦について、大変興味深く感じたなどの感想をいただきました。

○プログラム

「最先端スマートアグリ ～ 技術とビジネス ～」

- ◆京大農場見学会
- ◆開会挨拶 岡村 和男 氏(当協議会理事、運営・研究部会長)
- ◆講演「京大農場の概要とグリーンエネルギーファーム」
北島 宣 氏(京都大学教授・大学院農学研究科附属農場主事)
- ◆講演「ICTで創る、地域を横断した次世代農業バリューチェーン」
三原 洋一 氏(NKアグリ株式会社代表取締役社長)
- ◆講演「農業と水のIoTソリューションシステム」
末吉 康則 氏(株式会社クボタ 研究開発本部 計測制御技術センター KRMDグループ長)
- ◆閉会挨拶 山下 朝文 氏(総務省近畿総合通信局 情報通信部長)
- ◆交流会



見学会
← →



← 展示



交流会 →



北島 宣 氏



三原 洋一 氏



末吉 康則 氏



岡村 和男 氏



山下 朝文 氏

セミナー「最新気象レーダが拓く安心・安全な社会2016」開催結果

- 日 時：2016年12月22日(木) 13:00～16:30
- 場 所：SYDホール(東京・代々木)
- 来場者数：105名
- 主催：次世代安心・安全ICTフォーラム
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

○概要：
豪雨や竜巻による災害が多発する状況下、最新の気象レーダの開発や気象予測技術の研究開発が活発に実施されています。そこで、本セミナーでは、最新気象レーダ観測による防災・減災についてや、気象レーダによる社会イノベーションを目指した研究開発に関するご講演をいただき、関係者間の相互連携を進め、また、専門家でない方にも研究開発の現状と課題をわかりやすく解説することを目的に開催しました。本年は特に、気象研や日本無線で稼働を始めたフェーズドアレイレーダの初期結果が報告されました。わかりやすい講演であった、フェーズドアレイレーダの活用が進んでいることがよく理解できたなどの感想をいただき、好評でした。

- プログラム
- ◆主催者挨拶 次世代安心・安全ICTフォーラム会長 福地 一 氏
- ◆来賓挨拶 総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課研究推進室 室長 越後 和徳 氏
- ◆基調講演「フェーズドアレイ気象レーダが拓く今後の防災」
大阪大学 牛尾 知雄 氏
- ◆講演「フェーズドアレイ気象レーダの開発と水防活動への利活用」
株式会社東芝 水谷 文彦 氏
- ◆講演「千葉に設置したフェーズドアレイ 気象レーダの概要と東京湾周辺の局地的豪雨の観測結果」 日本無線株式会社 柏柳 太郎 氏
- ◆講演「フェーズドアレイレーダーを用いた激しい風雨をもたらす大気現象の研究」
気象庁気象研究所 足立 透 氏
- ◆講演「3次元雷放電観測装置の開発と顕著現象予測への応用」
気象庁気象研究所 吉田 智 氏
- ◆講演「MPフェーズドアレイ気象レーダの気象予測への活用方法」
(国研)防災科学技術研究所 岩波 越 氏
- ◆講演「スマートフォンアプリ『3D雨雲ウォッチ～フェーズドアレイレーダ～』での2年目の実証実験を終えて」 株式会社エムティーアイ 小池 佳奈 氏
- ◆講演「神戸市におけるフェーズドアレイ気象レーダを用いたゲリラ豪雨対策支援システムの実証実験について」 (国研)情報通信研究機構 中川 勝広 氏
- ◆閉会挨拶 当協議会WG副主査 牛尾 知雄 氏



福地 一 氏



越後 和徳 氏



会場の様子



牛尾 知雄 氏



水谷 文彦 氏



柏柳 太郎 氏



足立 透 氏



吉田 智 氏



岩波 越 氏



小池 佳奈 氏



中川 勝広 氏

セミナー「ICTを活用した農業」開催結果

○日時：2017年3月8日(水) 13:30～17:00

○場所：グランフロント大阪カンファレンスルームC03

○来場者数：51名(アンケート回収数34)

○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

○概要：

人工知能やIoT、ロボット技術などICTの活用が農業分野にも及んできています。京大農場でのシンポジウムに引き続き、今回のセミナーでは、ICTを活用した農業について、先進的な取り組みをされている方々から現在の状況や課題、今後の方向性などについてお話いただきました。講演1では、農業分野における、株式会社NTTドコモのIoTを活用した取り組みをご紹介いただきました。同社の女性による営業部隊であるアグリガールにもお越しいただき、牛の出産の兆候をつかむシステムの紹介などをしていただきました。講演2では、富士通株式会社が進めている、山梨県甲州市のワインファームでの、農薬散布タイミングをはかる事例などをご紹介いただきました。講演3では、マンゴーやいちごなどの高付加価値化を目指したり、農業の現場を改善したりするためにICTを活用した新たな取り組みについてご講演いただきました。

○プログラム

◆講演1

「NTTドコモの『農業+d』について」

株式会社NTTドコモ 関西支社法人営業部 担当部長
井上 篤弘 氏

株式会社NTTドコモ 農業ICTプロジェクトチーム アグリガール
川野 千鶴子 氏

◆講演2

「データ分析から見る新しい農業への期待」

AgriEnet代表 伊東 和彦 氏

◆講演3

「農業ICTの新展開 ～ビッグデータとAIを踏まえた新たな農業戦略～」

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授・医学部 准教授(兼担)
内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室長代理・副政府CIO
神成 淳司 氏



井上 篤弘 氏



川野 千鶴子 氏



伊東 和彦 氏



神成 淳司 氏



会場の様子

2016年度共催、協賛、後援イベント

(1) グローバルコミュニケーションシンポジウム2016ーグローバルコミュニケーションが目指すツーリズム・テクノロジーの今と近未来

日時: 2016年9月23日(金)~25日(日)

場所: 東京ビッグサイト東展示棟

主催: グローバルコミュニケーション開発推進協議会

共催: (国研)情報通信研究機構

協賛: [けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)

後援: 総務省

協議会からパネル展示を実施



(2) けいはんな情報通信フェア2016

日時: 2016年11月10日(木)~12日(土)

場所: けいはんなプラザ、ATR

主催: けいはんな情報通信フェア2016実行委員会、(国研)情報通信研究機構、(株)国際電気通信基礎技術研究所、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、(公社)関西経済連合会

協賛: 大阪電気通信大学、オムロン(株)京阪奈イノベーションセンタ、京セラ(株)中央研究所、(株)けいはんな、(株)島津製作所基盤技術研究所、同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、日本電産(株)生産技術研究所、日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所、パナソニック(株)先端研究本部、(国研)防災科学技術研究所、近畿情報通信協議会、[けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)、次世代安心・安全ICTフォーラム、グローバルコミュニケーション開発推進協議会

(3) 関西ICTイノベーションセミナー2016 in けいはんなー未来を拓くイノベーションの創発ー

日時: 2016年11月11日(金)14:00~16:45

場所: けいはんなプラザ黄河

主催: 総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会

協賛: (国研)情報通信研究機構、[けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)

(4) 災害・危機管理ICTシンポジウム2017ー災害時の情報収集・伝達ー

日時: 2017年2月2日(木)10:30~16:00

場所: パシフィコ横浜アネックスホール

主催: 次世代安心・安全ICTフォーラム、(国研)情報通信研究機構

共催: [けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)

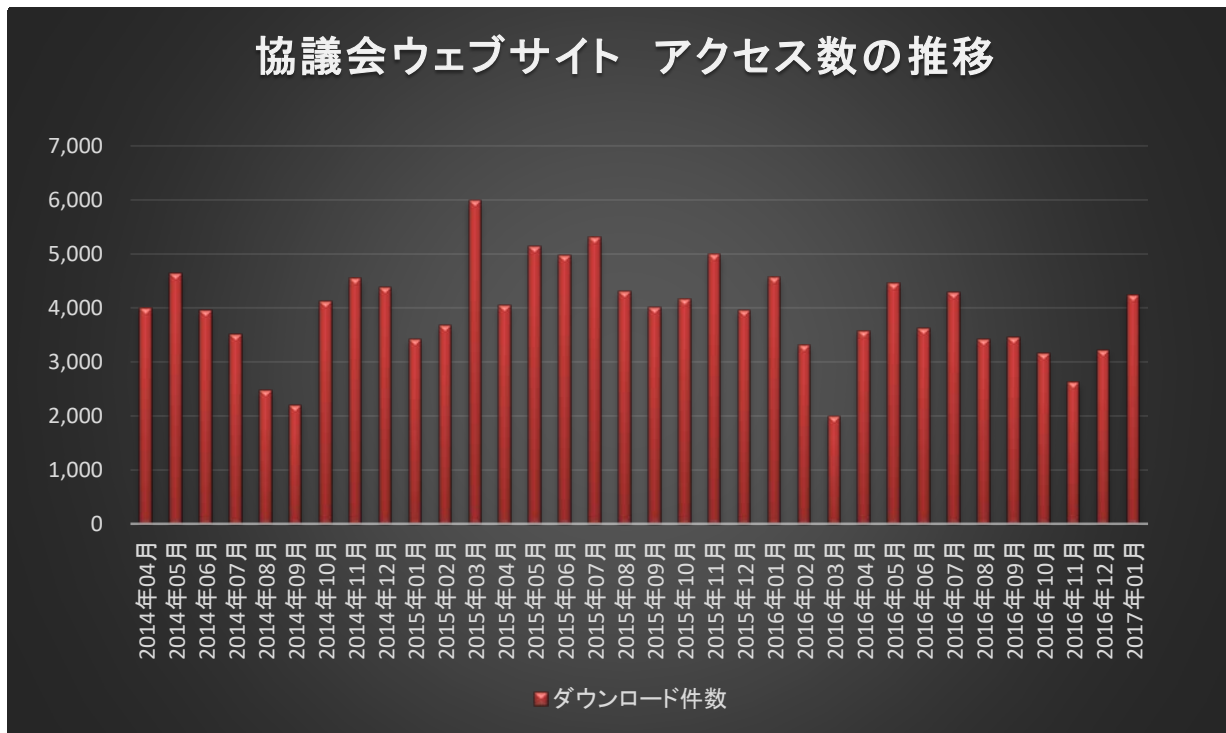
(5) ITpro EXPO 2017 Spring-Summer (Cloud Days 関西 2017、ビッグデータEXPO 関西 2017、セキュリティ 関西 2017、モバイル&ウェアラブル 関西 2017、IoT Japan 関西 2017、ワークスタイル変革 関西 2017、FACTORY 2017 Spring 関西)

日時: 2017年3月2日(木)~3日(金)

場所: グランフロント大阪コングレコンベンションセンター

主催: 日経BP社

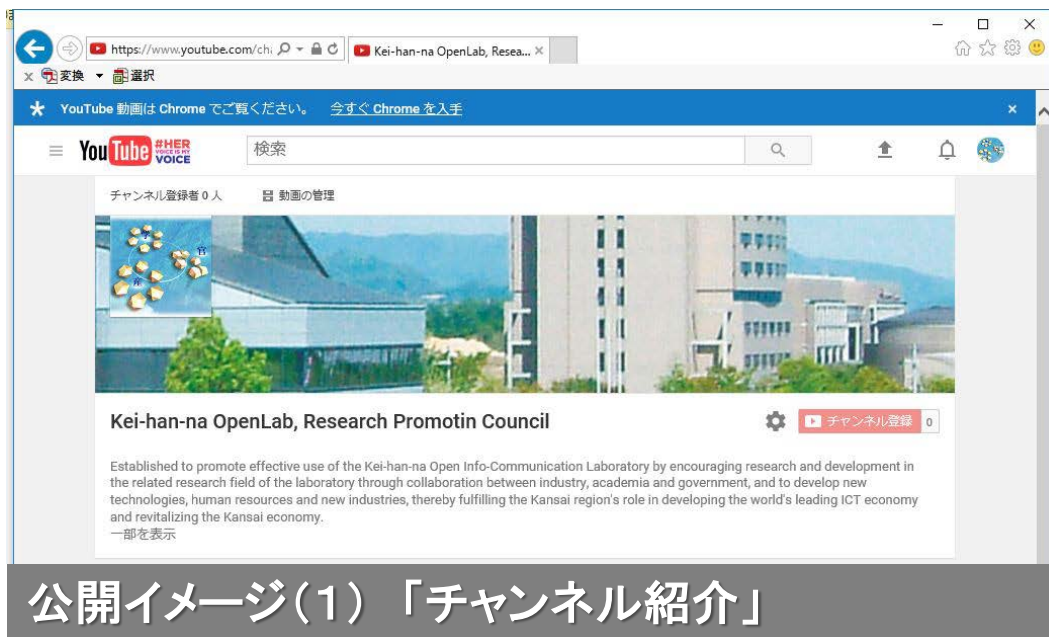
後援: 総務省近畿総合通信局、経済産業省近畿経済産業局、京都市、大阪市、神戸市、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、近畿情報通信協議会、地域ICT推進協議会(copli)、(一財)関西情報センター(KIIS)、(一社)関西ICT協会、(一社)関西ニュービジネス協議会、(一社)ヒューリットMF(経営革新支援機関)、(公財)大阪産業振興機構、(公財)新産業創造研究機構、(公社)関西経済連合会、特定非営利活動法人ITC近畿会、特定非営利活動法人日本情報技術取引所関西支部、[けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)、HISCO(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)



一定数のアクセスを得ているが、より効果的な広報の取り組みを検討。

情報発信の強化～YouTube公式チャンネルの開設～

- 活動成果の発信力をより強化するため、YouTubeに公式チャンネルの開設
 - チャンネル名：Kei-han-na OpenLab, Research Promotion Council
 - 内容：WG活動の成果を中心に動画を発信
 - 開設時期：平成29年4月
 - 公開イメージ：右図及び下図のとおり
まず、相互接続性WGが学会での展示のために作成した動画を公開



公開イメージ(2)
「成果紹介の一例」

2017年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① WG活動費によるWG活動の支援を継続。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査の実施。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2017の開催（11月～12月予定）。
- ② 総会において、講演会を企画（6月7日、けいはんなプラザ）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2017において、研究活動紹介、広報活動（10月26日～28日、けいはんなプラザ）。
- ④ セミナー、見学会などの開催による情報提供、人材育成の実施。
- ⑤ ウェブページを活用した協議会活動の一層のPRや広報・啓発活動の強化。 **動画サイトでの情報発信。**
- ⑥ 他団体（グローバルコミュニケーション開発推進協議会、次世代安心・安全ICTフォーラム、AC・Net、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム等）との交流・連携促進。関西ICT研究交流連絡会を通じた連携。
- ⑦ **農業ICT準備WGを設立し、活動をおこなう。**
- ⑧ **地域の研究開発活動との連携を強化する。**

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けたPR、広報の実施。

2017年度の活動計画②

	2017年 4月 5月 6月			7月 8月 9月			10月 11月 12月			2018年 1月 2月 3月 4月											
企画・広報分科会	● 第15回 分科会 (3/17)									● 第16回 分科会 (3~4月)											
創造系活動				WG活動支援																	
				ニーズ調査、テーマ検討、体制整備																	
促進系活動	→ 総会企画準備			→ セミナー開催準備			→ シンポジウム 開催準備			→ セミナー開催準備											
				随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)																	
整備系活動				けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用																	
				JGNなどのネットワーク施設整備・運用																	
新規準備 WG				企画、メンバー募集、会合、打ち合わせ																	
【協議会関連】	● 第17回 運営研究 部会 (5/11)			● 第16回 総会 (6/7)			● セミナー (9月頃)			● けいはんな 情報通信 フェア2017 (10/26-28)			● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)			● セミナー (2月頃)			● 第18回 運営研究 部会 (4月~5月)		
				事務局打合せ、月1回程度開催																	

○設立の背景

- ・人工知能やIoT、ロボット技術など情報通信関連技術(ICT)の活用が農業分野にも及んできている。「第4次産業革命」における基盤技術である人工知能(AI)やIoT、ビッグデータ、ロボット技術は、農業分野で活用することにより「スマート農業」の実現を加速し、生産現場のみならずサプライチェーン全体で、農業や食関連産業における生産性や付加価値を一層高めるツールとしての活用が期待されている。
- ・けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会では、昨年度、京大農場でのシンポジウム、グランフロント大阪でのセミナーを開催し、大勢の方にお越しいただきました。多くの方のご興味、ご関心のあるテーマであると考えている。
- ・そこで、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会に、農業ICT準備ワーキンググループを設置し活動を開始する。

○体制

主査: 金谷重彦 奈良先端大教授 (予定)

○目的、方向性

ICTを活用した農業について、

- ・共同実験
- ・競争的資金獲得
- ・セミナー、アイデアソン、見学会などの開催

○今後の予定

随時、講演会、ミーティング等を開催予定。

- ・専門家による講演会
- ・ユーザによる活用事例の紹介
- ・メンバー間の連携促進、交流、情報交換、コミュニティビルディング
- ・メンバー外への周知、啓発
など